

非常用電源により停電時にも卸売市場運営を維持 (兵庫県神戸市)

事業者：兵庫県神戸市



冷蔵施設に非常用電源を整備



冷蔵施設内の状況：食肉を保管



対策名：No.108 卸売市場に関する緊急対策

事業名：神戸市中央卸売市場西部市場 卸売市場防災対応施設整備事業

- ポイント**
- 食肉を保管する冷蔵施設に非常用電源を整備
 - 停電時においても、卸売市場の生鮮食料品等の安定供給機能を継続的に維持

地域の概要・課題

食肉市場である神戸市中央卸売市場西部市場において、停電が発生した場合、保冷が必要な食肉を保管することができなくなるため、食肉の品質低下により出荷できずに廃棄することとなり、卸売市場運営を継続できなくなるリスクがありました。

【見込まれる効果】

停電時においても、食肉を保管する冷蔵施設（冷蔵庫7室2,833㎡）を保冷する事が可能となり、卸売市場の安定供給機能を継続的に維持することができるようになります。

また、本緊急対策では、他の地域でも事業を実施しており、例えば、下記でも同様の効果の発現が見込まれています。

【事例：茨城県水戸市】
水戸市公設地方卸売市場
卸売市場防災対応施設整備事業

【事例：三重県松阪市】
三重県地方卸売市場
卸売市場防災対応施設整備事業

【事例：沖縄県浦添市】
沖縄県中央卸売市場
卸売市場防災対応施設整備事業

事業の概要

停電時に卸売市場運営に支障が生じないようにするため、食肉を保管する冷蔵施設に非常用電源を整備しました。